



ています。

寺 ちなみに私、潜水土ですつー潜水歴は8年…10年ぐらいで、昨日も潜水業務で潜ってました。(笑)

副 本当!そうですか。それでは何かアドバイスをし

寺 アドバイス…。そう!ただ実践あるのみ。潜って、行つて、最後に一番大事になるのは精神力。

副 寺本さんも、小さい頃から今の職業に繋がる何かがございますか。

寺 物心つく前から、母と一緒に高田松原を歩いて、貝を拾って…。

それが私の原点で、今の仕事があるんです。この高田の豊かな自然の中で、貝を拾って、わからない貝は「海と貝のミュージアム」に持って行って調べたり、日常的に海と、



小松 龍介さん

小さい頃からの夢

副 小松さんは高田高校海洋システム科卒業で、二人の先輩というのですが。

小 高校卒業後は、県実習船の船舶職員として働いたあと、実家の漁業を継ぎました。もともと漁業をやりたいという思いもあり、小さい頃から祖母の養殖漁業の手伝いをしてきて、自然に漁業が好きになっていましたね。

今年抱負!

副 最後に皆さん、今年にかける意気込みをお聞かせ願います。

寺 ヒラガキだけでなく、もっとと養殖の選択肢が増えるような研究がしたいです。アサリもやっていますし、貝類が専門の私なので、貝類で何かないか、これからも探していきたいです。

小 遊ぶ暇もなく、年中仕事なんで、まずはケガをしない。あと来年から、ワカメのポイルを始めるんですけど、新たな挑戦です。

佐 岩手を離れ、茨城に行く



寺本さんが小学生の時に作成した貝の標本

そして貝があつたんですね。(一同、寺本さん持参の貝の標本を囲んで談笑。)



んですが、そこに馴染めるように頑張っていきたいですし、茨城の海も堪能できたらいいなと思います。

黄 入社する会社が全国に展開しているの、どんなところでも潜り、その海はどうなっているのか実体験を通じて、楽しんでいけたらと思っています。

議 皆さんからいろいろな話を伺いましたが、私からは「これからも失敗を恐れず、一生懸命、型にはまらず、羽ばたいて」と最後に伝えたいと思います。今日は本当にありがとうございました。



岩手県立高田高等学校 大黒 努教諭

水産業に興味を持った子どもたちの受け皿になる、3セクや会社組織のようなものを、市や漁協に手を取り合って作ってもらえたら。教える側としては、研究者・漁業者との連携も必要と思っています。

『ヒメネジガイはどこに行けばとれるんですか?』と聞きに来た小学生のちっちゃな寺本さんが岩手の貝を背負って立つ人になるなんて。博物館で大事なのは人づくりの部分。ありがたい人材に出会えました。奇跡の海・三陸といわれる、この海での活躍を今後も願っています。



陸前高田市立博物館 熊谷 賢主任学芸員

オブザーバー・引率の先生より

特集 市制施行70周年記念 新春座談会2025

奇跡の海・三陸で育つ若者たち



黒潮の 香に明けそめて
椿島 春呼ぶ絵巻き
白砂に 波はくだけて
夏雲の 高田松原
(陸前高田市民歌より)

岩手県水産技術センター 寺本 沙也加さん
漁業 小松 龍介さん
岩手県立高田高等学校 海洋システム科 佐々木 堅也さん
黄川田 釉王さん

議長 及川 修一
副議長 鵜浦 昌也

市制施行70周年の年頭に当たり、本市の海に関わる生き方を選んできた若者たちに想いを語っていただきました。

議 あけましておめでとうございます。市議会だよりの新春座談会にお集まりいただき誠にありがとうございます。それでは、自己紹介をお願いします。

自己紹介

寺 寺本沙也加です。釜石の県水産技術センター増養殖部で研究員をしています。気仙町出身です。

佐 高田高校海洋システム科海洋科学コース三年、佐々木堅也です。小友町です。

黄 同じく食品科学コース三年、黄川田釉王です。小友町出身です。

小 小松龍介です。広田町で、ワカメ・ホタテの養殖をしています。

ヒラガキとの出会い

副 新聞報道で目にしたのですが、三陸の海でヨー



寺本 沙也加さん

ロッパヒラガキを見つけた時のお話をお聞かせください。

寺 三年程前に沖縄から帰郷し、技術センターに配属されました。新しい養殖を考えていたらSNSに「この貝なに?」と。その写真で見た貝は、日本では見たことがない貝だったんです。その貝をDNA解析したら、ヨーロッパのヒラガキという欧州原産の食用力キでした。

議 貝の特徴や今後の養殖への展開などはございますか。

寺 このヒラガキを新規養殖種として開発に取り組んでいます。岩手沿岸ほぼ全域に生息しているので、手応えを感じています。カゴ養殖を考えていて、ホタテ用の資材をそのまま使えます。最近、高水温の関係で、真ガキでもへい死が多く、このヒラガキはその面でも希望が持てます。



黄川田 釉王さん

議 海に潜るという事に怖さはない?

佐 怖い部分もあります、正直。そこは安全にできるよう技術も高めていきたいと思っています。



佐々木 堅也さん

黄 自分も潜水士を目指しています。潜水技能を生かした土木関係の会社で頑張りたいです。

副 高校生お二人に。海洋システム科ではどんなことを頑張り、また今後に生かしたいですか。

佐 就職に必要な潜水の基礎をダイビング実習で学びました。自分は潜水士として、いろんな所で活躍したいと考えています。